原被告ノ住所地ナル長崎縣ニ於ケル貴族院多額納稅者議員選擧ハ明治三十七年六月十日長崎縣廳ニ於テ擧行セラレ被告橋本雄造ハ其當選者トナリタリ然レトモ被告ノ當選ハ以下ノ理由ニヨリ不當ナリ

卽本縣ノ互選資格者ハ十五名ニシテ其投票ヲ點檢シタル結果ハ被告七票原告五票訴外人本多西男一票無效投票二個ト告知サレタリ從テ被告ハ最多數ノ投票ヲ得タルノ理由ヲ以テ當選者ト確定セラレタルモノナルモ右被告ノ得票中山崎喜平治カ投票シタル一票ハ當時同人ハ中風症ニ罹リ居リテ自署ヲナス能ハサリシニヨリ他人ヲシテ被選人タル被告ノ氏名及自己ノ氏名ヲ代署セシメタル違法ノモノナルニ付キ當ニ之ヲ無效トナスヘキヤ可ク從テ被告ノ得票ハ總計六個ナリト爲サヽル可ラス而シテ前記ノ如ク選擧管理者ヨリ無效ト決定セラレタル二個ハ寺田半次郎本多西男カ原告ニ投票シタルモノニシテ其投票其自身ニハ毫モ違式ノ點ナキモ右投票當日前記ノ兩名ハ事故ノ爲メ選擧會場ニ至ルコト能ハサリシニ付キ其事由書ヲ封緘シ其表面ニ記名捺印シテ自書ニ係ル四折ニセル投票ト共ニ前者ハ他ノ互選人塚島富三郎ニ後者ハ同長瀨類治ニ委託シ之ヲ投票セシメタルモノナルヲ以テ貴族院多額納稅者議員互選規則第十七條ニ所謂投票ヲ封緘シ其表面ニ記名捺印シ云々ノ點ニ違反セリトノ理由ノ下ニ無效ト決定セラレタルモノナリ依テ同上規則ヲ案スルニ其第十七條ニハ前記ノ如ク規定シアルモ之ニ違背セル投票ハ無效トナス旨ノ規定ナキノミナラス同法條ハ投票其者ニ關スル規定ニ非スシテ投票ヲナス手續ニ付テノ特種ノ場合ヲ定メタルモノナルカ故ニ此ノ法條ニ多少違背スル所アルモ手續ニ於テ些少ノ違背アリト云フ可キモノニシテ投票其者ニ違法アリト云フコトヲ得ス而シテ凡ソ法律ニ於テハ事ノ實體ニ重キヲ置クモノト手續ニ重キヲ置クモノトノ數種アリテ實體ニ重キヲ置クモノハ手續ニ於テ些少ノ瑕疵アルモ實體ニシテ眞正ナラサルカ手續上ノ瑕疵ヲ以テ直チニ實體ヲ無效トナスコトナク之ヲ無效トナストノ明文ヲ待ツテ始メテ無效トナスモノトナリ今貴族院多額納稅議員互選規則ノ全體ヲ通覽スルニ第十六條第二項ニ投票ハ被選人ノ姓名ヲ記載シ次ニ自己ノ姓名ヲ記載ス可シト規定シアリテ其法意ハ選擧人ノ眞正ナル意思カ投票其者ニヨリテ表示セラレンコトヲ希望スルモノ換言スレハ選擧人ノ意思ニ重キヲ置キタルモノニシテ其第十九條ニハ投票效力ノ有無ニ付キ疑義アルトキハ選擧管理者之ヲ決定スト規定シ投票其自身ノ效力ニ付テハ有無ノ決定ヲナス旨ヲ定メタルニ拘ハラス投票ヲ爲スノ手續ニ付テ瑕疵アル場合ニ此種ノ決定ヲナスコトヲ定メサルハ投票其者ニ重キヲ置キタルコト愈明確ナリ左レハ前記寺田半次郎本多西男ノ二個ノ投票カ同上規則第十七條ニ少シク違背スル所アルモ苟クモ其投票其自身ニシテ第十六條第二項ニ違犯スル所ナキ限リハ投票其者ハ

有效ナリト云フ可ク之レヲ無效ナリト決定スルニハ宜シク明條ニ遵據セサル可カラス然ルニ前述ノ如ク同上規則中ニハ手續ニ違背スルノ故ヲ以テ投票ヲ無效トナスノ規定ナキヲ以テ結極該投票ハ有效ノモノト決定セサル可ラス

以上ノ如ク論スルトキハ同上規則第十七條ヲ設置スルノ必要ナシト云フモノアルモ同條ハ第十六條第一項ニ對シ特例ヲ開ク爲メニ設ケラレタルモノニシテ尙ホ此所定ノ手續ヲ履行シタル投票ハ疑義ヲ挾ムノ餘地ナカラシメントスルニ出テタルモノト云フ可ク而テ此手續ニ就テ多少ノ違犯アルモノニ對シテハ投票其者ノ效力如何ヲ判定セシムルモノタルニ過キサルナリ

以上ノ理由ニシテ果シテ正鵠ヲ得タルモノトセンカ原告ハ前記五票ノ外尙ニ個ノ得票アルニ至ルヲ以テ合計七票ヲ得タルモノトナリ被告ハ前段ノ如ク有效投票六個ナルヲ以テ原告ハ當選者タルノ地位ヲ得ルモノニシテ假リニ被告得票中山崎喜平治ノ投票ヲ有效トシ其得票ハ選擧管理人ノ告知ノ如シトスルモ原告ハ被告ヨリ年長者ナルカ故ニ同上規則第二十條第二項ニヨリ當選者タルコト疑ヲ容レス依テ玆ニ本訴ニ及ヒ候也

立證方法及其說明（之ヲ略ス）

明治三十七年十一月二十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

答辯書

長崎縣西彼杵郡時津村五百六拾七番戶平民商　長崎縣長崎市江戶町八番戶平民商

原告　三山近六

被告　橋本雄造

右

原告　三山近六

當選無效請求事件ノ答辯

要領

原告ノ請求相立タストノ判決アランコトヲ求ム

理由

一山崎喜平治ノ投票ニ於ケル選擧人及被選人ノ氏名カ代署ニ係ルコトハ被告ノ知ラサル事實ナリ

選擧管理者モ認メサリシ事實ナリ

二山崎喜平治カ自己及被告ノ氏名ヲ代署セシメタリト假定スルモ代署ハ一般法律ノ認許スル所ニシテ亦貴族院多額納稅者議員互選規則ノ禁止スル所ニ非サルカ故ニ山崎ノ投票ハ尙ホ有效ナリ

三前記互選規則ハ啻ニ代署ヲ禁止セサルノミナラス亦自署ヲ要求スルノ意ヲ示サス其第十六條第二項ハ投票ノ書式ヲ定メタルモ會場ニ於テ姓名ヲ自署スルコトヲ命シタルニ非ス又第十七條ハ記名捺印ト明言シテ自署ヲ要セサルコトヲ謂フ（同法第二十三條及明治三十三年法律第十七號參照）亦以テ投票自身ニ於ケル記名ノ方法ヲ推知スルニ足ルヘシ

四寺田半次郎及本多酉男ノ投票ハ封緘及表面ノ記名捺印ヲ兩ナカラ缺キタルコト乃チ前記互選規則第十七條ノ規定ニ明カニ違背シタルコト原告モ自認スル所ナリ而シテ違法ノ投票ノ無效タルヘキハ當然ナリ

五選擧法ノ目的ハ眞正ノ投票ヲ得ントスルニ在ルハ勿論ナレトモ亦成ルヘク眞正ト否トニ付テノ爭ヲ寡ナカラシムルニ在リ或ル形式上ノ標準ヲ定メ其遵否ニ依リテ眞否正否ヲ決セントスルハ是カ爲メナリ例ヘハ被選人ノ氏名ノミヲ記載シタル投票モ訴訟ノ途ニ由リ證據ノ力ヲ以テスルトキハ之ヲ投シタル選擧人ノ誰タルヲ判定シ得ヘシト雖トモ此種ノ投票ハ常ニ無效トセラルヽカ如シ

六貴族院多額納稅者議員互選規則第十七條ノ規定ハ正ニ投票ノ眞正ト否トヲ定ムルノ標準ヲ示スモノナリ之ニ適從セサル投票ハ選擧管理者ニ於テ其眞正ヲ認知スルニ由ナキカ故ニ採用セラルヘカラス

七長崎縣ニ於テハ選擧管理者ハ用紙ヲ一定セス單ニ美濃紙又ハ半紙ヲ用フヘキコトヲ達シタリ隨テ前記第十七條ノ必要ハ實ニ切ナリ

八形式上ノ標準ノ遵守ハ特別ノ場合ヲ除クノ外選擧管理者ノ裁定ハ最終ノモノタルヘクシテ亦前記互選規則ノ趣旨ナリト信ス

右ノ次第ニテ原告ノ請求ハ理由ナクシテ選擧管理者ノ決定ハ正當ナリト信候ニ付其旨ノ判決ヲ仰度及答辯候也

明治三十七年十二月十二日

右

被告　橋本雄造

貴族院議長公爵德川家達殿

委員會ハ祕密會議ヲ開クコト四回ニシテ審査ヲ結了シ明治三十八年一月二十七日委員長名村泰藏君

ハ左ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

貴族院議員橋本雄造ニ係ル當選無效ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通リ判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

明治三十八年一月二十七日

資格審査委員長　名村泰藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

貴族院議員當選無效ノ訴ニ對スル議決報告書

本訴ハ原告長崎縣西彼杵郡時津村五百六十七番戸平民商貴族院多額納稅者議員互選人三山近六ヨリ同縣長崎市江戸町七番戸平民商貴族院多額納稅者議員當選人橋本雄造ニ對シ貴族院議員當選ノ無效ヲ訴出テタルモノトス

原告請求ノ要旨

明治三十七年六月十日長崎縣廳ニ於テ貴族院多額納稅者議員選舉ヲ擧行セラレ其選舉ニ於ケル互選資格者十五名ノ投票ヲ點檢シタル結果ハ被告七票原告五票訴外人某一票無效投票二個ト告知セラレタリ從テ被告ハ最多數ノ投票ヲ得タル故ヲ以テ當選者ト確定シタルナリ然ルニ右被告ノ得票中ニ於テ山崎喜平治ナル者カ投票シタル一票ハ當時同人疾病ニ罹リ居リテ自署ヲ爲スコト能ハサリシニ因リ他人ヲシテ被選人タル被告ノ氏名及ヒ自己ノ氏名ヲ代署セシメタル違法ノモノナルカ故ニ其效力アルコトナシ從テ被告ノ得票ハ總計六個ト爲サヽルヘカラス

又選舉管理者ニ於テ無效ト決定シタル二票ハ寺田半次郎本多西男ノ兩名カ原告ニ投票シタルモノニシテ其投票自身ニハ毫モ違法ノ點ナキモ選舉ノ當日此兩名ハ事故ノ爲メ選舉會場ニ至ルコト能ハサリシニ因リ其事由書ヲ封緘シ其表面ニ記名捺印シテ四折ニセル自署ノ投票ト共ニ之ヲ他ノ互選人ニ委託シ投票ヲ爲サシメタルモノナルヲ以テ貴族院多額納稅者議員互選規則第十七條ニ所謂投票ヲ封緘シ其表面ニ記名捺印シ云々ノ點ニ違背セリトノ理由ノ下ニ無效ト決定セラレタルモノナリ然ルニ同條ハ其規定ニ違背セル投票ノ無效ナルコトヲ明言セサルノミナラス第十六條第二項ノ如キ投票其者ノ效力ニ關スル規定ニ非スシテ單ニ投票ヲ爲スノ手續ヲ定メタルモノニ過キス實體ト手續トノ間ニ輕重ノ差別アルコトハ同規則第十九條ニ「投票效力ノ有無ニ付疑義アルトキハ選舉管理者之ヲ決定ス」トアルニ徵シテ明瞭ナリトス故ニ投票ノ手續上ニ些少ノ瑕疵アルモ之カ爲ニ投票其者ヲ無效トスルノ趣意ニ非ラサルコト毫モ疑ヲ存セサルナリ

上記ノ理由ニ因リ原告ハ告知セラレタル五票ノ外尚二票ヲ得タルコト事實ニシテ合計七票ヲ得タ

ルモノナリ之ニ反シテ被告ノ得票ハ前記山崎喜平治ノ投票ヲ控除シタル結果トシテ總計六個ヲ超過セサルカ故ニ原告ハ結局當選者タル地位ヲ得ヘキモノトス假ニ選舉管理者ノ告知セシ如ク山崎喜平治ノ投票ヲ有效トスルモ被告ノ得票ハ原告ノ得票ト同數ナリ而シテ原告ハ被告ヨリモ年長者ナルカ故ニ互選規則第二十條第二項ニ依リ當選者タルコト疑ヲ容レスト云フニアリ

被告答辯ノ要領

互選者山崎喜平治ノ投票ニ於ケル選舉人及ヒ被選人ノ氏名カ代署ニ係リシコトハ選舉管理者ニ於テ認知セル事實ニ非ス假ニ原告ノ主張スル如ク代署ナリシトスルモ代署ハ貴族院多額納稅者議員互選規則ノ禁止スル所ニ非ス特ニ自署ヲ必要トスル明文ナキ以上ハ代署ニ依ル投票ト雖モ其效力アルモノト解釋セサルヘカラサルコト言ヲ俟タサルナリ

又寺田半次郎及ヒ本多西男ノ投票ハ封緘及ヒ表面ノ記名捺印ヲ缺キタルコト原告モ自認スル事實ナルカ故ニ互選規則第十七條ニ違背セルモノナルコト明ナリ而シテ違法ノ投票ハ其效力ナキコト當然ニシテ特ニ明文ヲ必要トスルコトナシ蓋同條ノ本旨ハ投票ノ眞正ナルコトヲ認知スルノ標準ヲ定メ以テ其眞否ニ付キ爭議ノ發生ヲ防止スルニ在ルコト疑ヲ存セス是選舉ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル手續ニ外ナラス故ニ形式上ノ要件ニ過キサルコトヲ理由トシテ其效力ニ影響ナキモノト爲スハ失當ノ見解タルコトヲ免レスト云フニ在リ

議決ノ理由

茲ニ原被告ノ爭點ニ就キ之ヲ審按スルニ原告ハ先ツ互選人山崎喜平治ノ投票ハ代署ニ係ルカ故ニ無效ナルコトヲ主張スト雖モ此點ニ於テハ被告ノ答辯スル如ク特ニ自署ヲ必要トスル法文ナキニ因リ代署ヲ禁スルモノニ非サルコトハ一般法規ノ解釋上殆ト疑ナキ所トス例ヘハ明治二十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第三十六條ノ如キ自ラ氏名ヲ記載スヘキ明文アル場合ト同一ニ論スヘキニ非サルナリ

次ニ原告ハ互選人寺田半次郎及ヒ本多西男ノ投票ハ封緘及ヒ表面ノ記名捺印ヲ缺キタルモ是唯投票手續ニ關スル微細ナル瑕疵ニ過キスシテ投票其者ノ效力ニ影響セサルコトヲ主張スト雖モ此投票ニ關スル手續ハ被告ノ陳述スル如ク投票ノ眞正確實ナルコトヲ保障スル一要件ニシテ單ニ注意ヲ喚起スル爲メノ條規ト見ルヘキニ非ス原告カ之ト區別スヘキモノトセル第十六條第二項ノ規定ト雖モ畢竟投票ノ方式ヲ定メタルモノニ外ナラス是等ノ要件中ニ於テ主從輕重ノ差別ヲ立ツルニハ到底其標準アルコトナク何レモ投票ノ眞實ナルコトヲ確保シ以テ選舉ノ目的ヲ貫徹スルノ趣旨ニ出テタルモノト解スヘキナリ苟モ斯ノ如キ公益上ノ理由ニ基ケル方式ニ違背セル投票ナル以上

ハ其無效ナルコト論ヲ俟タス故ニ投票ノ效力ニ付キ原告ノ主張スル如キ區別ヲ爲スハ失當ノ解釋ト謂ハサルコトヲ得ス

上記ノ理由ニ基キ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

本會議ノ議事

判　決

貴族院ハ被告長崎縣選出多額納稅者議員橋本雄造ノ當選ハ無效ニ非スト判決ス

明治三十八年一月三十一日本件ノ會議ヲ開キ委員長名村泰藏君ハ委員會ノ經過ヲ報告シ且判決ノ理由ヲ說明セリ曰ク本訴訟ノ要點タル貴族院多額納稅者互選規則第十七條ノ解釋ニ關シ原告ハ本條ヲ以テ單ニ手續上ノ規定ニテ投票自體ニ關スルモノニ非サルカ故ニ假令本條ノ規定ニ違背スル所アルモ之ヲ以テ當然投票ヲ無效トスヘキモノニアラス若夫レ手續ノ違背ニ依リテ投票ヲ無效トセムニハ必ス之ヲ無效トスルノ明文ニ據ラサルヘカラスト主張シ被告ハ之ニ對シ假令手續上ノ規定ナリトモ苟モ投票ノ確實ヲ期スル爲ノ規定ナル以上ハ之ニ違背スルニ依リテ其ノ投票ハ無效タルヘキモノナリト主張シ而シテ資格審査委員會ニ於テハ其ノ議決報告書ニ縷述スル如ク投票ニ關スル手續ハ投票ノ眞正確定ヲ保障スル要件ニシテ其ノ要件ニ違背セル投票ハ假令之ヲ無效トスルノ明文ナクトモ解釋上無效タラサルヘカラストシ從テ原告ノ申立ヲ不當ト認メ被告ノ當選ハ無效ニ非スト判決セリト

議院ノ判決

次テ議長公爵德川家達君ハ發言者ナキヲ以テ貴族院規則第百九條ニ依リ無名投票ヲ以テ採決スル旨ヲ宣告シ採決ノ結果否トスル者四ニ對シ可トスル者百九十ノ多數ヲ以テ左ノ判決文ヲ可決セリ

判　決

貴族院ハ被告長崎縣選出多額納稅者議員橋本雄造ノ當選ハ無效ニ非スト判決ス

議長ハ卽日書記官長ヲシテ判決文ノ謄本ヲ作ラシメ之ヲ原告及被告ニ送達セリ

○第十一　議員松村脩平君ニ係ル當選不法ノ爭訟

爭訟ノ提起

本件ハ第二十一回議會ニ於テ提起シタル原告茨城縣多額納稅者議員互選人荒野由次郎ヨリ被告同縣選出貴族院多額納稅者議員松村脩平君ニ係ル當選不法ノ爭訟ニシテ明治三十七年十二月六日議長ハ其ノ訴狀ヲ受領セリ

爭訟ノ要領

本爭訟ノ要領ハ明治三十七年六月十日茨城縣ニ於テ同縣貴族院多額納稅者議員選擧ヲ行フニ當リ被告ハ互選人ニ賄賂ヲ行使シテ自己ニ投票セムコトヲ求メ互選人ハ之ヲ認諾シテ被告ニ投票シタル結果被告ハ投票多數ヲ得テ當選シタリ卽チ被告ハ選擧ニ關シ輕罪ヲ犯シタル者ニシテ當然貴族院多額納稅者議員互選人タルノ資格ヲ喪失シタルモノト謂フヘク從テ被告ノ當選ハ不法ニシテ無效ナルカ

故ニ其ノ當選ヲ取消シ次點タル原告ヲ以テ當選者トスルノ判決アリタシト謂フニアリ而シテ本件ハ十二月八日資格審査委員ニ付託セラレタリ（委員ノ氏名ハ前章ニ掲載シタルモノト同シキヲ以テ之ヲ略ス）

委員會ハ十二月十四日訴狀ノ副本ヲ被告議員松村脩平君ニ送達シ併セテ同月二十一日迄ニ答辯書ヲ差出スヘキ旨ヲ通牒セリ次テ同月二十一日被告ヨリ答辯書ヲ差出シタルヲ以テ同月二十三日其ノ副本ヲ原告ニ送達セリ又同月二十三日委員會ハ議長ヲ經テ本件審査上必要ト認メタル證憑文書ヲ政府ニ要求シ同月二十八日政府ヨリ之カ回答ヲ受領セリ原告ノ訴狀被告ノ答辯書及資格審査ニ關シ政府ヘ要求書竝其ノ回答書左ノ如シ（證據書類ノ掲載ハ之ヲ略ス）

原告ノ訴狀

訴狀

茨城縣鹿島郡中野村大字荒野三十七番地平民農
貴族院多額納稅者
原告　荒野由次郎

同縣結城郡宗道村大字新宗道四十番地平民農
貴族院多額納稅者

賄賂ニ因ル不法當選取消ノ訴

貴族院議員
被告　松村脩平

請求ノ要領

被告松村脩平ノ貴族院多額納稅者貴族院議員トシテノ當選ヲ取消シ原告荒野由次郎ヲ貴族院多額納稅者貴族院議員當選者トスト御判決有之度候

本件提出後被告松村脩平若シ辭職免職等ノ場合ニハ原告荒野由次郎カ當選者タル事併セテ御判決有之度候

理由

明治三十七年六月十日茨城縣ニ於テ貴族院多額納稅者互選會ヲ開カルヽヤ本件ノ被告卽チ當時ノ議員候補者松村脩平ハ互選者タル幡谷仙之助ヲ買收セント欲シ同年同月同日水戸市泉町和泉屋太吉方ニ於テ被告指揮ノ下ニ水戸市泉町高安義次郎結城郡岡田村大字國生長塚源次郎東茨城郡小川町幡谷嘉久郎等ヲ協商セシメ互選者幡谷仙之助（宛ハ幡谷仙之助ノ）ヲ賄賂トシテ交付シ原告ニ投票セシコトヲ求メ幡谷仙之助ハ之ヲ認諾シ前記ノ金額及

手形ヲ受取リタリ時ニ三十七年六月十日午前十時ナリトス幡谷仙之助ハ直ニ茨城縣廳ニ出頭シ前記ノ契約ニ基キ被告ニ投票シ而シテ互選會互選ノ結果被告ハ七票ヲ得原告ハ五票ヲ得被告ハ貴族院多額納稅者議員ニ當選シタリ同月十一日水戸市芝田屋ノ二階座敷ニ於テ被告ハ隣室ニ控ヘ長塚源次郎高安義次郎幡谷嘉久郎石田寅次郎ノ四名同座シ前記一千圓ノ約束手形ニ對シ現金五百圓ヲ仙之助代理嘉久郎ニ交付シ殘金五百圓ヲ前同一ノ約束手形トシタリ

被告ノ使用シタル前記ノ贈賄金ハ水戸市百四銀行ヨリ借入レタルモノニシテ結城郡水海町植田清五郎農工銀行頭取齋藤斐石田寅次郎等本件ニ干與セリ

右之事實ハ選舉ノ際賄賂ヲ行使シ投票ヲ求メタル犯罪行爲ニ該當スルモノニシテ卽チ被告ハ選舉ニ關シ輕罪ヲ犯シタルモノナリ

如上ノ理由ニヨリ被告ハ當然貴族院多額納稅者議員互選人タル資格ヲ喪失シタルモノト謂ツ可クシテ被告ノ當選ハ不法ニシテ無效タリ仍テ原告カ當選シタルコト不法ナル以上ハ次點者タル原告ハ當選者タルコト理ノ當然タリ是レ本訴ヲ提起シタル所以ニ候

立證

石田寅次郎覺書

荒野由次郎宛差出人內田源左衞門封書
牧野丑太郎宛差出人高安鹿洞封書
內田源左衞門宛差出人宇田野定吉封書

明治三十七年十二月六日

貴族院議長公爵德川家達殿

答辯書

右

原告　荒野由次郎

茨城縣鹿島郡中野村大字荒野三十七番地平民農
貴族院多額納稅者

原告　荒野由次郎

同縣結城郡宗道村大字新宗道四十番地平民農
貴族院多額納稅者議員

被告　松村脩平

賄賂ニ因ル不法當選取消事件ノ答辯

要　領

原告ノ訴ヲ却下スル旨ノ判決アランコトヲ求ム

理　由

一原告ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第七條ニ依テ本訴ヲ提起シタルカ如シト雖トモ同條ニ依ル訴ハ被告ノ犯罪ヲ原因ト爲サヽルヘカラス

二前記第七條ニ輕罪以上ノ罪ヲ犯シタルトキトハ原告カ刑法ニ觸ルヘキ事實ヲ發見シタルヲ謂フニモ非ス亦原告カ被告ニ犯罪アリト認定シタルヲ謂フニモ非ス全ク被告カ相當ノ審理ヲ經テ有罪ノ判決ヲ受ケタルヲ謂フナリ

三選擧ニ關ルト否トヲ問ハス重輕罪ノ審判ハ司法裁判所ノ管掌ニ屬スルコトハ貴族院議員資格及選擧爭訟規則第八條ノ規定ニ徵スルモ亦明カナリ隨テ前記第七條ノ犯罪ノ有無ハ裁判所ノ審判ニ依リテノミ定メラルヘキモノナリ

四貴族院多額納稅者議員互選規則第三乃至第六條ハ在職受刑其他ノ條件ノ存在中一時ノ失權卽チ互選權ノ停止ニ係ル規定ナルモ尙ホ行政又ハ司法官廳ノ確然タル職權上ノ處分ヲ基トス然レハ永劫無期ノ失格ヲ命スル同第七條ハ反テ裁判所ノ判決ヲ要セス原告ノ認定ヲ以テ犯罪ノ有無ヲ決セシムルノ趣旨ナリトハ權衡上容レラルヘカラサル解釋ナリ

五被告カ賄賂行使ノ罪アリトシテ裁判所ノ判決ヲ言渡サレタリトハ原告ノ敢テ主張セサル所ナリ反テ原告カ被告ニ對シテ水戸地方裁判所檢事局ニ提起シタル告訴ハ檢事ノ採用スル所ト爲ラスシテ不起訴ノ決定ヲ受ケタルモノナリ

六當選議員ノ資格ヲ否定スルトキハ貴族院ハ其位列ヲ停止シテ上奏スルノ定ニシテ其當選ヲ取消スヘキモノニ非ス而シテ原告ハ被告ノ當選取消ヲ請求ス

七原告ノ所謂ユル立證ハ孰レモ一個人カ隨意ニ作成シ得ヘキ書類ニシテ其所載亦多クハ傳聞ノ事實ニ屬シ一モ證據トシテ視ルヘキモノニ非ス

以上ノ理由ニ因リ本訴ハ貴族院多額納稅者議員互選規則ニ副ハサルカ故ニ却下セラルヘキモノト否ラストスルモ本訴ノ請求ハ採容セラルヘカラサルモノト信ス

右及答辯候也

明治三十七年十二月二十一日

右

資格審査ニ關シ政府ヘ要求書

貴族院議長公爵徳川家達殿

資格審査上必要事項ニ關シ政府ヘ要求書

茨城縣貴族院多額納稅者議員互選人荒野由次郎ヨリ同縣貴族院多額納稅者議員松村脩平ニ係ル不法當選取消請求ノ訴訟ニ關シ別紙ノ事項ハ本院ノ審査上必要ニ付至急回答ヲ得度貴族院議員資格及選擧爭訟判決規則第七條ニ依リ及要求候也

明治三十七年十二月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

（別　紙）

一茨城縣鹿島郡中野村大字荒野三十七番地平民農荒野由次郎ヨリ同縣結城郡宗道村大字新宗道四十番地平民農松村脩平ニ對シ貴族院多額納稅者議員互選ノ際同人ニ賄賂行使ノ罪アリトシ水戸地方裁判所檢事局ヘ提起シタル告訴ハ檢事ノ採用スル所トナラスシテ不起訴ノ決定ヲ與ヘタル事實アリヤ否ヤ

政府ノ回答書

以上

右照會ニ對スル政府ノ回答書

本月二十三日付ヲ以テ要求相成候貴族院多額納稅者議員松村脩平ニ係ル告訴ノ件ニ關シ別紙ノ通司法大臣ヨリ覆牒有之候ニ付右謄本及御回付候也

明治三十七年十二月二十八日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

（別　紙）

本月二十四日送第二二號通達ニ依リ貴族院議長ノ要求ニ係ル松村脩平ニ對スル告訴ノ件ニ付當省民刑局長ヲシテ爲取調候處別紙ノ通水戸地方裁判所檢事正代理檢事和田健兒ヨリ答申有之候ニ付右ニテ御了承相成度此段及覆牒候也

明治三十七年十二月二十八日

司法大臣波多野敬直

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

（別　紙）

茨城縣結城郡宗道村大字新宗道四十番地平民農
松村脩平

右之者ニ對シ貴族院多額納稅議員互選ノ際賄賂行使ノ罪アリトシ荒野由次郎ヨリ提出シタル告訴ノ件ニ付不起訴ヲ爲シタルコトアリヤ否回報スヘキ旨祕第一八五號ヲ以テ御申越ノ趣了承荒野由次郎ヨリ松村脩平ニ對シ直接爲シタル告訴ハ無之候得共該件ニ付テハ左記ノ通リ都合三回ノ告訴告發有之而シテ其事實トスルハ要スルニ互選ノ際幡谷仙之助ニ於テ松村脩平ヨリ收賄ノ結果同人ヲ選擧ナシタリト云フニ有之候モ之ヲ認ムルニ足ルノ材料無之ヲ以テ孰レモ不起訴處分ニ及ヒタル次第ニ有之

明治三十七年六月十日告訴同六月十日不起訴
茨城縣鹿島郡中野村大字荒野三十七番地
告訴人　荒野由次郎
同縣東茨城郡小川町大字宮田二十番地
被告人　幡谷仙之助

同年七月十五日告發同七月三十日不起訴
茨城縣鹿島郡鹿島町大字宮中百三十番地
告發人　牧野丑太郎
被告人　幡谷仙之助
同　松村脩平

同年十二月七日告發同日不起訴
告發人　被告人　前同樣

右及答申候也

明治三十七年十二月二十六日

司法省民刑局長法學博士河村譲三郎殿

水戸地方裁判所檢事正代理
檢事　和田健兒

委員會ノ審査報告

委員會ハ祕密會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ結了シ明治三十八年二月八日委員長名村泰藏君ハ左ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

第十一　議員松村脩平君ニ係ル當選不法ノ爭訟　二百五

貴族院議員松村脩平ニ係ル賄賂ニ因ル不法當選取消ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通リ判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

明治三十八年二月八日

資格審査委員長　名村泰藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

貴族院議員當選無效ノ議決報告書

本訴ハ原告茨城縣鹿島郡中野村大字荒野三十七番地平民農貴族院多額納税者議員互選人荒野由次郎ヨリ同縣結城郡宗道村大字新宗道四十番地平民農多額納税者議員當選人松村脩平ニ對シ貴族院議員當選ノ無效ヲ訴出テタルモノナリ

原告請求ノ要旨

明治三十七年六月十日茨城縣ニ於テ貴族院多額納税者互選會ヲ開カルヽヤ本件ノ被告卽チ當時ノ議員候補者松村脩平ハ互選者タル幡谷仙之助ヲ買收セント欲シ同年同月同日水戸市泉町和泉屋太吉方ニ於テ被告指揮ノ下ニ水戸市泉町高安義次郎結城郡岡田村大字國生長塚源次郎東茨城郡小川町幡谷嘉久郎等ニ協商セシメ互選者幡谷仙之助ニ現金一千圓及額面一千圓ノ約束手形（振出人松村脩平、名宛人幡谷仙之助）ヲ賄賂トシテ交付シ被告ニ投票センコトヲ求メ幡谷仙之助ハ之ヲ認諾シ前記ノ金額及ヒ手形ヲ受取リタリ時ニ三十七年六月十日午前十時ナリトス幡谷仙之助ハ直ニ茨城縣廳ニ出頭シ前記ノ契約ニ基キ被告ニ投票シ而シテ互選會互選ノ結果被告ハ七票ヲ得原告ハ五票ヲ得被告ハ貴族院多額納税者議員ニ當選シタリ同月十一日水戸市芝田屋ノ二階座敷ニ於テ被告ハ隣室ニ控ヘ長塚源次郎高安義次郎幡谷嘉久郎石田寅次郎ノ四名同座シ前記一千圓ノ約束手形ニ對シ現金五百圓ヲ仙之助代理嘉久郎ニ交付シ殘金五百圓ヲ前同一ノ約束手形トシタリ

被告ノ使用シタル前記ノ贈賄金ハ水戸市百四銀行ヨリ借入レタルモノニシテ結城郡水海町植田清五郎農工銀行頭取齊藤斐石田寅次郎等本件ニ干與セリ

右之事實ハ選舉ノ際賄賂ヲ行使シ投票ヲ求メタル犯罪行爲ニ該當スルモノニシテ卽チ被告ハ選舉ニ關シ輕罪ヲ犯シタルモノナリ如上ノ理由ニヨリ被告ノ當選ハ不法ニシテ無效タリ被告カ當選シタルコト不法ナルヲ以上ハ次點者タル原告ハ當選者タルコト當然ナリト云フニ在リ

被告答辯ノ要領

原告ハ貴族院多額納税者議員互選規則第七條ニ依テ本訴ヲ提起シタルカ如シト雖トモ同條ニ依ル

訴ハ被告ノ犯罪ヲ原因ト爲サヽルヘカラス

前記第七條ニ輕罪以上ノ罪ヲ犯シタルトキトハ原告カ刑法ニ觸ルヽヘキ事實ヲ發見シタルヲ謂フニモ非ス仝ク被告カ相當ノ審理ヲ經テ有罪ノ判決ヲ受ケタルヲ謂フナリ選擧ニ關ルト否トヲ問ハス重輕罪ノ審判ハ司法裁判所ノ管掌ニ屬スルコトハ貴族院議員資格及選擧爭訟規則第八條ノ規定ニ徴スルモ亦明カナリ隨ツテ前記第七條ノ犯罪ノ有無ハ裁判所ノ審判ニ依リテノミ定メラルヘキモノナリ

貴族院多額納稅者議員互選規則第三乃至第六條ハ在職受刑其他ノ條件ノ存在中一時ノ失權即チ互選權ノ停止ニ係ル規定ナルモ尚ホ行政又ハ司法官廳ノ確然タル職權上ノ處分ヲ基トス然レハ永劫無期ノ失格ヲ命スル同第七條ハ反テ裁判所ノ判決ヲ要セス原告ノ認定ヲ以テ犯罪ノ有無ヲ決セシムルノ趣旨ナリトハ權衡上容レラルヘカラサル解釋ナリ

被告カ賄賂行使ノ罪アリトシテ裁判所ノ判決ヲ言渡サレタリトハ原告ノ敢テ主張セサル所ナリ反テ原告カ被告ニ對シテ水戸地方裁判所檢事局ニ提起シタル告訴ハ檢事ノ採用スル所ト爲ラスシテ不起訴ノ決定ヲ受ケタルモノナリ

當選議員ノ資格ヲ否定スルトキハ貴族院ハ其位列ヲ停止シテ上奏スルノ定ニシテ其當選ヲ取消ス

ヘキモノニ非ス而シテ原告ハ被告ノ當選取消ヲ請求ス

原告ノ所謂ユル立證ハ一個人カ隨意ニ作成シ得ヘキ書類ニシテ其所載亦多クハ傳聞ノ事實ニ屬シ一モ證據トシテ視ルヘキモノニ非ス

以上ノ理由ニ因リ本訴ハ貴族院多額納稅者議員互選規則ニ副ハサルカ故ニ却下セラルヘキモノニ否ラストスルモ本訴ノ請求ハ採容セラルヘカラサルモノナリト云フニ在リ

議決ノ理由

原被告ノ爭點ニ就キ之ヲ審案スルニ原告ハ被告松村脩平ハ選擧ノ際互選者タル幡谷仙之助ニ賄賂ヲ行使シテ投票ヲ求メタルモノニシテ卽チ選擧ニ關シ輕罪ヲ犯シタル者ナルカ故ニ其當選ハ無效ナルコトヲ主張スト雖トモ普通犯罪ノ有無ヲ判定スル職權ハ司法裁判所ニ專屬スルモノナルコトヲ我國ノ法制上毫モ疑ナキ所トス故ニ貴族院多額納稅者議員互選規則第七條ニ所謂選擧人選擧ニ關リ輕罪以上ノ罪ヲ犯シタルトキハ被告ノ答辯スル所ノ如ク司法裁判所ノ判決ニ依リテ輕罪以上ノ犯罪アリト判定シタル場合ヲ指スモノナルコト自ラ明カナル所ナリ而シテ原告ノ主張スル所ノ賄賂行使ノ事實ニ就テハ前後三回ノ告訴及ヒ告發アリシモ其犯罪事實ヲ認ムルニ足ルヘキ材料ナキヲ以テ孰レモ不起訴處分ニ及ヒタルコトハ內閣總理大臣ヨリ當院議長ヘノ覆牒ニ添付セル水戸地

本會議ノ議事

方裁判所檢事正代理檢事和田健兒ノ公文書ニ徵シテ明確ナリ之ヲ要スルニ原告ノ訴ハ適法ノ理由ナキモノナリ

上記ノ理由ニ基キ本件ハ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

判決

貴族院ハ被告茨城縣選出多額納稅者議員松村脩平ノ當選ハ無效ニ非スト判決ス

明治三十八年二月十日本件ノ會議ヲ開キ委員長名村泰藏君ハ委員會ノ經過ヲ報告シ且判決ノ理由ヲ說明セリ曰ク原告ハ被告カ多額納稅者議員選擧ノ際互選人タル幡谷仙之助ニ賄賂ヲ行使シテ投票ヲ求メタルモノニシテ卽チ選擧ニ關シ輕罪ヲ犯シタルモノナルカ故ニ其ノ當選ハ無效ナリト主張シ被告ハ之ニ對シ貴族院多額納稅者議員互選規則第七條ニ規定セル犯罪ノ有無ハ司法裁判所ノ審判ニ依テ決スヘキモノニシテ原告主張ノ如ク被告カ選擧ニ關シ輕罪ヲ犯シタルモノナラムカ司法裁判所ノ判決ナカルヘカラス然ルニ原告カ被告ニ對シテ水戶地方裁判所檢事局ニ提起シタル告訴ハ檢事ノ採用スル所トナラスシテ不起訴ノ決定ヲ受ケタルモノナリト答辯シ而シテ委員會ハ該事實ヲ確ムルノ必要ヲ認メ議長ヲ經テ政府ニ問合セタルニ政府ノ覆牒ニ添附シタル水戶地方裁判所檢事正代理ノ公文書ニ徵スレハ該事件ニ付テハ三回ノ告訴告發アリタレトモ其ノ犯罪事實ヲ認ムルニ足ルヘキ材料ナキヲ以テ不起訴處分ニ及ヒタルコト明カナリ是ニ於テ委員會ハ審議ノ結果原告ノ申立ヲ不當ト認メ被告ノ當選ハ無效ニ非スト決シタル所以ナリト次テ議長公爵德川家達君ハ發言者ナキヲ以テ採決スヘキ旨ヲ宣告シ起立ニ諮ヒシニ多數ヲ以テ左ノ判決文ヲ可決セリ

議院ノ判決

判決

貴族院ハ被告茨城縣選出多額納稅者議員松村脩平ノ當選ハ無效ニ非スト判決ス

議長ハ卽日書記官長ヲシテ判決文ノ謄本ヲ作ラシメ之ヲ原告及被告ニ送達セリ

爭訟ノ提起

○第十二　議員佐藤友右衞門君ニ係ル當選不法ノ爭訟

爭訟ノ要領

本件ハ第四十一回議會ニ於テ提起シタル原告新潟縣多額納稅者議員互選人五十嵐甚藏ヨリ被告同縣選出貴族院多額納稅者議員佐藤友右衞門君ニ係ル當選不法ノ爭訟ニシテ大正八年一月五日議長ハ其ノ訴狀ヲ受領セリ

本爭訟ノ要領ハ大正七年六月十日新潟縣ニ於テ行ハレタル貴族院多額納稅者議員選擧ニ於テ被告及互選人故今井孫市ハ各七票ヲ得被告ハ年長者タルノ故ヲ以テ當選ト決定セラレタレトモ被告ノ得票中互選人堤清六ノ投票及被告ノ投票ハ之ヲ互選人齋藤彥太郎ニ委託スルニ當リ其ノ封筒ノミニ自ラ

署名捺印シ其ノ投票ハ選擧ヲ行フノ日ニ於テ他人ヲシテ被選擧人及自己ノ姓名ヲ代署セシメタルモノナリ而シテ凡ソ選擧ニ關スル根本義ハ選擧人ヲシテ自己ノ意思ヲ自由ニ表示セシムルト共ニ其ノ意思表示ヲ祕密ナラシムルニ在リ意思ノ自由ナル表示ハ選擧人自ラ投票ニ被選人ノ氏名ヲ記載スルコトニ依リテノミ之ヲ行フヲ得ヘシ而シテ貴族院多額納稅者議員互選規則ニハ此ノ明文ナシト雖同第十六條ノ規定ニ依レハ原則トシテ選擧會場ニ於ケル投票ハ他人ヲシテ被選人又ハ選擧人ノ氏名ヲ記載セシムルコトヲ許ササルニ在ルハ蓋シ疑ヲ容レサル所ナリ果シテ然ラハ同第十七條ノ規定ニ依リ他ノ互選人ニ投票ヲ委託スル場合ニ於テモ亦此ノ原則ニ違背スヘカラサルモノナリトシテ其ノ理由ヲ說述シ終ニ若本件事實ノ如ク互選人投票ヲ自署セス之ヲ他ノ代署ニ一任シタルカ如キハ封緘前既ニ他人ノ該投票ニ關與セルコトヲ示スモノニシテ封緘ヲ必要トスル法意ヲ沒却スルモノト謂ハサルヘカラス以上ノ事由ニ依リ被告佐藤友右衞門ノ當選ハ之ヲ無效トシ更ニ選擧ヲ爲サシムヘシトノ判決ヲ請フト謂フニ在リ而シテ本件ハ直ニ之ヲ左ノ資格審査委員ニ付託セラレタリ

委員長　伯爵　廣澤金次郎　　副委員長　子爵　稻垣太祥

男爵　松岡康毅　　山脇玄

服部一三　　子爵　京極高德

子爵　勘解由小路資承　　有松英義

上山滿之進

委員會ハ一月十一日訴狀ノ副本ヲ被告議員佐藤友右衞門君ニ送達シ併セテ同日ヨリ十日以內ニ答辯書及其ノ副本壹通ヲ差出スヘキ旨ヲ通牒セリ同日委員會ハ議長ヲ經テ本件審査上必要ト認メタル證憑文書ヲ政府ニ要求セリ同月十七日被告ヨリ答辯書ヲ差出シタルヲ以テ同月二十一日其ノ副本ヲ原告ニ送達シ原告ニ於テ辯駁書ヲ差出ス場合ニハ副本送達ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ差出スヘキ旨ヲ通牒セリ二月三日原告ヨリ被告ノ答辯書ニ對スル辯駁書、追申書、訂正書ヲ受領シ同月五日之ヲ被告ニ送達シ追申書ニ對スル答辯書及其ノ副本ヲ同日ヨリ五日以內ニ差出スヘキ旨ヲ通牒シ同月八日被告ヨリ辯駁書竝追申書ニ對スル再答辯書ヲ受領セリ同月十四日被告ヨリ差出シタル再答辯書ヲ原告ニ送達シ辯駁書ヲ差出ス場合ニハ再答辯書ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三日以內ニ之ヲ差出スヘキ旨ヲ通牒セリ原告ノ訴狀、被告ノ答辯書、原告ノ辯駁書、追申書、訂正書、被告ノ再答辯書（其ノ他ノ書類ノ揭載ヲ略ス）左ノ如シ

訴狀

新潟縣北蒲原郡笹岡村大字笹岡

多額納稅者議員互選人

原告　五十嵐甚藏

同縣同郡水原町大字下條

新潟縣貴族院多額納稅者勅選議員

被告　佐藤友右衞門

貴族院多額納稅者議員當選不法之訴訟

一定ノ申立

大正七年六月十日新潟縣ニ於テ執行セラレタル貴族院多額納稅者議員選擧ニ於テ當選ト決定シタル被告佐藤友右衞門ノ當選ハ之ヲ無效トシ更ニ選擧ヲ爲サシムル可キ判決相成度候

事實

一大正七年六月十日新潟縣ニ於テ執行セラレタル貴族院多額納稅者議員選擧ニ於テ被告佐藤友右衞門及故今井孫市ハ各七票ヲ得タルモ被告ハ年長ノ故ヲ以テ當選ト決定セラレタルモノナリ然レトモ被告ノ得票中堤清六ノ投票竝ニ被告自身ノ投票ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第十七條ニ依リ互選人齋藤彦太郎ニ委託スルニ當リ其封筒ノミニ自ラ署名捺印シ其投票ハ選擧當日他人ヲシテ被選人及自己ノ姓名ヲ代署セシメタルモノニシテ當然無效ノモノトス

理由

一抑々モ選擧ノ主要ナル趣意ハ一面ニ於テハ選擧人ヲシテ自己ノ意思ヲ自由ニ表示セシムルト共ニ他面ニ於テハ其意思ノ表示ヲ祕密ナラシムルニ在リ意思ノ自由ナル表示ハ獨リ本人カ思意セラルル被選人ノ氏名ヲ自ラ記載スルコトニヨリテノミ行フコトヲ得可シ是レ卽チ衆議院議員選擧法第三十六條府縣制第十八條郡制第十五條市制第二十五條町村制第二十二條等ニ被選人ノ氏名ヲ選擧人自ラ記載スルコトヲ要スト規定シタル所以ナリ是レ蓋シ公法上ノ選擧ニ關スル根本ノ原義ニシテ其明文ノ存スルト否トヲ問ハス當然尊重セラルル可キ公法ノ條理ナリ

尤モ貴族院多額納稅者議員互選規則ニハ衆議院議員選擧法等ノ如キ明文ヲ存セスト雖投票ノ原則ヲ定メタル該規則第十六條ノ「互選人ハ自ラ選擧會場ニ至リ投票スヘシ投票ハ被選人ノ姓名ヲ記載シ次ニ自己ノ姓名ヲ記載スヘシ」トアルニヨリテ之ヲ看レハ原則トシテ選擧會場ニ於ケル投票ハ他人ヲシテ被選人又ハ選擧人ノ氏名ヲ記載セシムルコトヲ許サス選擧人自ラ爲スヘキコトヲ命セルコトハ蓋シ疑ヲ容レサル所トス果シテ然ラハ同規則第十七條他ノ互選人ニ投票ヲ

委託スル場合ニ於テモ亦此根本原則ニ背馳スヘキ理アルヘカラス若シ然ラスシテ他人ヲシテ代署セシムルコトヲ得トセハ選擧人カ自由意思ヲ表示スルコトヲ不能トスル疾病ニ罹レル場合ニ於テモ他人之ニ代リテ被選人及選擧人ノ氏名ヲ記載シ投票ヲ爲スコトヲ得ルコトトナルヘシ斯ノ如キハ實ニ選擧カ選擧人ノ意思ノ自由ト行爲ノ祕密トヲ尊重セルノ大精神ヲ破壞スルモノト謂ハサルヘカラス前掲規則第十七條ニハ選擧人自ラ被選人ノ氏名ヲ記載スヘキコトヲ明白ニ規定スルコトナシト雖モ抑モ亦他人ヲシテ代署セシムルコトヲ得ル旨ノ積極的規定ヲモ存セス畢竟他人ヲシテ代署セシムルコトヲ得ルヤ否ヤハ空文ニ屬スルモノナリ斯ノ如キ空文ノ場合ニ於テハ公法上ノ選擧ノ根本義ニ從ヒ「自ラ記載スルコトヲ要ス」ト解スルヲ公法解釋ノ本義ト做ス

一公法ニ於ケル選擧ハ選擧權ヲ有スル選擧人ノ一身ニ專屬スル權利ニシテ選擧人ノ自由意思ニヨリテノミ表示シ得ルモノナリ而テ選擧人自身ノ自由意思ノ表示タルコトノ明徵スヘキモノニアラサレハ專屬權利タルノ意義ヲ有セス此點ニ於テ私法上ノ權利ノ行使ト全ク其性質ヲ異ニス例ヘハ議場ニ於テ各議員カ議案ニ付表示シ得可キ贊否ノ表決權ハ各議員ノ一身ニ專屬スル權利ニシテ勿論他人ヲシテ代行セシムルコトヲ得ス然レトモ是レ公法ノ根本法ニシテ別ニ明規ヲ要セスシテ然ルナリ議院法其ノ他ノ法規此點ニ關シ「自ラ表意スヘシ」トノ積極的明文アルヲ見ス而カモ未タ曾テ之レカ代行ヲ許スヘキコトヲ說クモノアルヲ見サルナリ又議院內ニ於ケル選擧ニ關シ投票ヲ議員自ラ被選人ノ氏名ヲ記載スヘシトノ規定アルモノ微シ而カモ何人カ果シテ其代行ヲ許スコトヲ認ムルモノアランヤ院外ニ於ケル選擧ニ關シ理當ニ然ルヘキナリ卽チ他人ノ代署シタル投票カ何等ノ規定ヲ要セスシテ院內ニ於テ當然無效タルヘキハ公法上自明ノ理ナルト等シク院外ニ於ケル選擧ニ付テモ選擧人ノ自由意思ノ表示タルコトヲ否認スヘキ代署投票ハ當然無效タルヘキナリ

上記ノ理由ニヨリ被告佐藤友右衛門ノ得票中二點ハ當サニ無效ニ歸スヘキモノナリ仍テ被告ト今井孫市ノ得票トヲ比較スレハ五對七ニシテ今井孫市ハ選擧ノ日ニ於テ當選ト決セラルヘキ筈ナリ然ルニ今井ハ大正七年十一月二十三日ニ於テ死去セルヲ以テ更ニ選擧ヲ執行スルヲ適法ナリト認ム

右ノ理由ニヨリ本訴提起ニ及ヒ候也

立　證

一被告當選ニ關スル選擧投票紙ノ點檢ニヨリテ前記代署投票ノ事實ヲ證ス

大正八年一月四日

被告ノ答辯書

貴族院議長公爵徳川家達殿

答辯書

新潟縣北蒲原郡笹岡村大字金屋
多額納稅者議員互選人
原告　五十嵐甚藏

右

同縣同郡水原町大字水原
五十嵐甚藏

新潟縣多額納稅者勅選議員
被告　佐藤友右衛門

貴族院多額納稅者議員當選無效請求事件之答辯

要領

原告ノ請求相立タストノ判決アランコトヲ望ム

理由

原告ノ辯駁書

一大正七年六月十日新潟縣ニ於テ執行セラレタル貴族院多額納稅者議員選擧ニ就テ原告ハ堤清六佐藤友右衛門兩人ノ投票ハ自署ニ非ラスシテ代署ナリト主張スレトモ拙者ノ投票ハ確ニ自署ニシテ堤清六ノ投票モ亦同シク自署ナリ故ニ原告ノ主張ハ其ノ骨子ニ於テ全ク事實相違セルモノナルヲ以テ他ニ論及スルノ必要ナシ

右ノ次第ニテ原告ノ請求ハ理由ナキモノナレハ原告ノ請求相立タストノ判決ヲ仰キ度及答辯候也

大正八年一月十七日

右

佐藤友右衛門

貴族院議長公爵徳川家達殿

辯駁書

新潟縣北蒲原郡笹岡村大字金屋
多額納稅者議員互選人
原告　五十嵐甚藏

同縣同郡水原町大字水原

新潟縣多額納稅者勅選議員

被告　佐藤友右衞門

貴族院多額納稅者議員當選無效請求事件大正八年一月十七日附被告答辯ニ對スル辯駁ノ要領

一大正七年六月拾日新潟縣ニ於テ執行セラレタル貴族院多額納稅者議員選擧ニ關シ被告ハ被告及堤清六ノ投票ハ自署ナリト主張スレトモ原投票ノ記載ハ被告及堤清六ノ自署ト全然異ナルモノト認ムル依テ嚴正ナル方法ヲ以テ被告等二人ノ眞正自署ナルヤ否ヤハ特別智識ヲ有スル鑑定人數人ノ鑑定ニ附シ決定セラレムコトヲ要求ス

一原投票封筒ノ記載ト原投票ノ記載ハ著シク筆蹟ヲ異ニスルモノト認ムルニ付是亦點檢セラレムコトヲ求ム

右辯駁書及提出候也

大正八年二月一日

右

五十嵐甚藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

追申書

新潟縣北蒲原郡笹岡村大字金屋

多額納稅者議員互選人

原告　五十嵐甚藏

同縣同郡水原町大字水原

新潟縣多額納稅者勅選議員

被告　佐藤友右衞門

一被告等ハ投票ヲ委託スルニ當リ其封筒ノミニ署名捺印シ其投票ハ他人ヲシテ代書セシメタルコト訴狀事實ノ項ニ擧示セル所ノ如シ繼テ貴族院多額納稅者議員互選規則第十七條ヲ見ルニ互選人選擧會場ニ至ルコト不能ノ場合ニハ互選人ニ於テ投票ヲ封緘シ他ノ互選人ニ依託スルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ蓋シ法カ投票ノ封緘ヲ必要ノ條件トシタルハ互選人自身ノ自由ナル意思ノ表示ヲ完全ニ保障スルト同時ニ選擧行爲ノ祕密ヲ尊重スルノ趣旨ニ出タルモノト見サルヘカラス若シ本件事實ノ如ク互選人自署セス他ノ代署ニ一任シタルカ如キハ封緘前既ニ他人ノ該投票ニ

原告ノ訂正書

千與セルコトヲ示スモノニシテ封緘ヲ必要トスル法意ヲ沒却スルモノト謂ハサルヘカラス第十七條ノ法意ヲ推セハ絕對ニ互選人ノ自署ヲ必要トスルモノナルコト明白ナリトス

右理由更ニ及追申候也

大正八年二月一日

貴族院議長公爵德川家達殿

訂正書

自分ヨリ佐藤友右衛門ニ對スル貴族院多額納稅者議員當選無效請求事件訴狀中原告肩書笹岡村大字笹岡トアルヲ同村大字金屋ト訂正シ被告肩書水原町大字下條トアルヲ同町大字水原ト訂正ス

右訂正候也

大正八年二月一日

右

原告　五十嵐甚藏

貴族院議長公爵德川家達殿

再答辯書

新潟縣北蒲原郡笹岡村大字金屋

多額納稅者議員互選人

原告　五十嵐甚藏

同縣同郡水原町大字水原

新潟縣多額納稅者勅選議員

被告　佐藤友右衛門

貴族院多額納稅者議員當選無效請求事件ニ付キ大正八年二月一日付原告ノ追申書及同日付辯駁書ニ對スル再答辯ノ要領

一原告ノ追申書ニハ被告及堤清六ハ投票ヲ委託スルニ當リ其封筒ノミニ自署捺印シ其投票ハ代署セシメタリト主張スレトモ被告及堤清六ハ投票封筒共ニ自署シ決シテ代署セシメタルニアラス又原告ハ被告及堤清六ハ投票ヲ封緘セスシテ齋藤彥太郎ニ交附シタルカ如ク申立ツルモ決シテサル事實ナシ

一原告ノ追申書及辯駁書ハ先キニ答辯セル如ク全ク事實ノ眞相ヲ誤リタルモノナルコトハ投票ヲ點檢セラルレハ明白ナリト信ス

右再答辯書及提出候也

大正八年二月八日

右

佐藤友右衛門

委員會ノ審査報告

貴族院議長公爵德川家達殿

委員會ハ會議ヲ開クコト六回ニシテ審査ヲ結了シ三月十日委員長伯爵廣澤金次郎君ハ左ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

貴族院議員佐藤友右衛門ニ係ル當選不法ノ訴ニ關シ本委員會ニ於テ資格審査ヲ終リ別冊ノ通判決スヘキモノト議決候條此段及報告候也

大正八年三月十日

資格審査委員長　伯爵　廣澤金次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

貴族院議員當選無效ノ訴ニ對スル議決報告書

本訴ハ原告新潟縣北蒲原郡笹岡村貴族院多額納稅者議員互選人五十嵐甚藏ヨリ同縣同郡水原町貴族院多額納稅者議員當選人佐藤友右衛門ニ對シ貴族院議員當選ノ無效ヲ訴出テタルモノトス

原告請求ノ要旨

大正七年六月十日新潟縣ニ於テ行ハレタル貴族院多額納稅者議員選舉ニ於テ被告及互選人故今井孫市ハ各七票ヲ得被告ハ年長者タルノ故ヲ以テ當選ト決定セラレタリ然ルニ被告ノ得票中互選人堤清六ノ投票及被告ノ投票ハ之ヲ互選人齋藤彥太郎ニ委託スルニ當リ其ノ封筒ノミニ自ラ署名捺印シ其ノ投票ハ選舉ヲ行フノ日ニ於テ他人ヲシテ被選人及自己ノ姓名ヲ代署セシメタルモノナリ凡選舉ニ關スル根本義ハ選舉人ヲシテ自己ノ意思ヲ自由ニ表示セシムルト共ニ其ノ意思表示ヲ祕密ナラシムルニ在リ意思ノ自由ナル表示ハ選舉人自ラ投票ニ被選人ノ氏名ヲ記載スルコトニ依リテノミ之ヲ行フコトヲ得ヘシ是レ卽チ衆議院議員選舉法第三十六條府縣制第十八條郡制第十五條市制第二十五條町村制第二十二條等ニ被選人ノ氏名ハ選舉人自ラ之ヲ記載スルコトヲ要スト規定シタル所以ニシテ斯カル明文ノ存スルト否トヲ問ハス當然尊重セラルヘキ條理ナリ而シテ貴族院多額納稅者議員互選規則ニハ斯ノ如キ條文ヲ存セスト雖第十六條ノ規定ニ依レハ原則トシテ選舉

會場ニ於ケル投票ハ他人ヲシテ被選人又ハ選擧人ノ氏名ヲ記載セシムルコトヲ許ササルハ蓋シ疑ヲ容レス果シテ然ラハ第十七條ノ規定ニ依リ他ノ互選人ニ投票ヲ依託スル場合ニ於テモ亦此ノ原則ニ背馳スヘカラス之ニ反シテ若投票ハ他人ヲシテ代署セシムルヲ得トセハ選擧人カ自由意思ヲ表示スルコトヲ不能トスル疾病ニ罹レル場合ニ於テモ他人之ニ代リテ被選人及選擧人ノ氏名ヲ記載シテ投票ヲ爲スコトヲ得ルコトトナルヘシ斯ノ如キハ實ニ選擧ニ於テ選擧人ノ意思ノ自由ト行爲ノ祕密トヲ尊重セルノ精神ヲ破壞スルモノト謂ハサルヘカラス又第十七條ハ選擧人自ラ被選人ノ氏名ヲ記載スヘキコトヲ明白ニ規定スルコトナシト雖抑又他人ヲシテ代署セシムルコトヲ得ルノ規定ヲモ存セス斯ノ如キ場合ニハ自ラ記載スルコトヲ要スト解釋スルヲ本義トス公法ニ於ケル選擧權ハ選擧人ノ一身ニ專屬スル權利ニシテ選擧人ノ自由意思ニ依リテノミ行使シ得ルモノナリ而シテ選擧人自身ノ自由意思ノ表示タルコトヲ明ニスルヲ得ヘキモノニアラサレハ專屬權利タルノ意義ヲ有セス例ヘハ議員議場ニ於テ議案ニ付表示シ得ヘキ表決權ハ議員ノ一身ニ專屬スル權利ニシテ他人ヲシテ代行セシムルコトヲ得サルハ是レ公法ノ根本義ニシテ別ニ明規ヲ要セスシテ然ルナリ議院法其ノ他ノ法規ニハ此ノ點ニ關シ自ラ表示スヘシトノ明文ナキモ未曾テ之カ代行ヲ許スヘキコトヲ說ク者アルヲ見ス又議院内ニ於ケル選擧ニ關シ投票ハ議員自ラ被選人ノ氏名ヲ記載スヘシトノ規定アルモノナシ而カモ何人カ其ノ代行ヲ許スコトヲ認ムルモノアラムヤ院外ニ於ケル選擧ニ關シテモ理亦當ニ然ルヘキナリ卽チ他人ノ代署シタル投票カ何等ノ規定ヲ要セスシテ院内ニ於テ當然無效タルヘキハ公法上自明ノ理タルト等シク院外ニ於ケル選擧ニ付テモ選擧人ノ自由意思ノ表示タルコトヲ否認スヘキ代署投票ハ當然無效タルヘキナリ

又第十七條ニ於テ互選人選擧會場ニ至ルコト能ハサル場合ニハ互選人投票ヲ封緘シ之ヲ他ノ互選人ニ依託スルコトヲ得ル旨ヲ規定シタリ蓋シ法カ投票ノ封緘ヲ必要ノ條件トシタルハ互選人自身ノ自由ナル意思表示ヲ完全ニ保障スルト同時ニ選擧行爲ノ祕密ヲ尊重スルノ趣旨ニ出テタルモノト見サルヘカラス若シ本件事實ノ如ク互選人投票ヲ自署セス之ヲ他ノ代署ニ一任シタルカ如キハ封緘前既ニ他人ノ該投票ニ關與セルコトヲ示スモノニシテ封緘ヲ必要トスル法意ヲ沒却スルモノト謂ハサルヘカラス以上ノ事由ニ依リ被告佐藤友右衛門ノ當選ハ之ヲ無效トシ更ニ選擧ヲ爲サシムヘシトノ判決ヲ乞フト謂フニ在リ

被告答辯ノ要旨

原告ハ互選人堤清六及被告カ投票ヲ互選人齋藤彥太郎ニ依託スルニ當リ其ノ封筒ノミニ自ラ署名捺印シ其ノ投票ハ代署セシメタリト主張スレトモ其ノ封筒及投票ハ孰モ自署シタルモノニシテ代

署セシメタルモノニ非ス又原告ハ提清六及被告ハ投票ヲ封緘セスシテ之ヲ齋藤彦太郎ニ交付シタルカ如ク申立ツルモ決シテ斯カル事實ナシ依テ原告ノ請求相立タストノ判決アランコトヲ望ムト謂フニ在リ

議決ノ理由

玆ニ原被告ノ爭點ニ就キテ之ヲ審按スルニ原告ハ貴族院多額納稅者議員選擧ノ投票ニ自署ヲ要スル場合ハ法令ニ明記アルヲ常トス而シテ貴族院多額納稅者議員ノ選擧ニ關シテハ之カ規定ナキカ故ニ自署タルコトヲ必要トセス」更ニ原告ハ貴族院多額納稅者議員互選規則第十六條第二項ヲ以テ自署ヲ命シタル規定ナリト解シ而シテ第十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ他ノ互選人ニ委託スル場合ニモ亦然リト斷定シタルモ第十六條第二項ニ「自己ノ姓名」トアルハ單ニ「其ノ投票ヲ爲シタル互選人ノ姓名」ノ義ニシテ進テ自署ヲ命シタル意義ヲ包含スルモノト謂フコトヲ得ス要スルニ貴族院多額納稅者議員選擧ノ投票ハ第二十一回帝國議會ニ於テ決定シタルカ如ク選擧人自ラ之ヲ記載スルト他人ヲシテ之ヲ記載セシムルトヲ問ハサルナリ而シテ既ニ投票ニシテ選擧人ノ自署タルヲ要セサルニ於テハ投票ニ付其ノ自署ナリヤ否ヤヲ審査スルヲ要セス

原告ノ訴狀中ニハ被告等ハ投票ノ依託ヲ爲スニ當リ封筒ニ封緘セサリシカ如ク疑ハルル字句アリト雖其ノ追申書ヲ見レハ原告カ斯カル主張ヲ爲ササルコトハ明白ナルノミナラス被告カ其ノ再答辯書ニ於テ封緘ノ後之ヲ委託セル旨ヲ主張セルニ對シ原告ハ更ニ抗爭スル所ナキヲ以テ被告等ハ投票ヲ委託スルニ先チ自ラ封筒ニ封緘ヲ爲シタルモノト認ムルニ十分ナリトス上記ノ理由ニ基キ本件ハ之ヲ左ノ如ク判決スヘキモノナリト議決ス

判決

貴族院ハ被告新潟縣選出多額納稅者議員佐藤友右衞門ノ當選ハ無效ニ非スト判決ス

大正八年三月十三日本件ノ會議ヲ開キ委員長伯爵廣澤金次郎君ハ委員會ノ經過ヲ報告シ且判決ノ理由ニ付說明ス（前揭委員會議決ノ理由ニ同シキヲ以テ之ヲ略ス）之ニ對シ河村讓三郎君ハ委員會ノ判決ニ付テハ贊成ナレトモ其ノ議決ノ理由ニ至リテハ諒解スルヲ得スト爲シ自己ノ意見ヲ述ヘテ委員長ノ說明ヲ求メタリ曰ク委員會議決ノ理由ハ要スルニ投票ニ自署ヲ要スル場合ハ法令ニ明記アルヲ常トス而シテ貴族院多額納稅者議員ノ選擧ニ關シテハ之カ規定ナキカ故ニ自署タルコトヲ必要トセスト云フニ在リ之レ果シテ正當ナル解釋ナルヘキヤ否ヤ頗ル疑問ノ存スル所ナリ何故ナレハ凡ソ署名ナルモノハ其ノ目的ノ上ヨリ考フルニ自署スヘキモノニシテ代署ニテハ名前人ト署名者ト同一人

タルコトヲ證明スルコトヲ得ス又署名ニ關スル法文ニ就テ觀ルニ民法、商法、戸籍法等ニ於テモ原則トシテ自署ヲ必要トシ自署スルコト能ハサル場合ニ於テ例外トシテ代署ヲ許シタルモノトストノ見解ニ付各例ヲ擧ケテ說明シ又委員會ハ衆議院議員ノ選擧ハ無記名投票ノ祕密選擧ナルヲ以テ自署ヲ必要トスレトモ貴族院議員ノ互選ニ付テハ記名投票ノ公開選擧ナルヲ以テ代署ヲ認ムルヲ得トノ說ナレトモ記名投票、無記名投票ノ差別ハ署名ノ自署ト代署トニ關係ナキ問題ト謂ハサルヘカラスト雖モ又互選規則ト同時ニ制定セラレタル市制、町村制及舊衆議院議員選擧法ノ署名ニ關スル規定ニ付論シタル後結局委員會ハ本院ニ於テ代署ヲ有效ト判決シタル先例ヲ尊重シテ玆ニ代署ヲ有效トシタル理由ノ外其ノ根據ナキカ如シ而シテ此ノ判決例ト雖之ヲ支持スル理由乏シキモノト考フル旨ヲ述ヘ幸ニ本件ニ付テハ被告ハ自署セリト主張スルモノニシテ其ノ事實ニ基キ判決ヲ下サハ代署問題ニ觸レスシテ可ナルヘシト述ヘ尙有爵議員ノ互選規則ニ關シ意見ヲ述ヘタリ次テ廣澤委員長ハ委員會ノ議決理由ヲ再說シテ河村君ノ質疑ニ答ヘ水野錬太郎君ハ原告主張ノ要旨ハ法律論ト事實論トニ分ル卽チ代署ハ適法ナリヤ否ヤ又事實ニ於テ代署シタリヤ否ヤ是レナリ然ルニ委員會ノ判決ハ法律論ニ重キヲ置キタル如ク考フルカ委員會ハ事實問題ニ付テ調査ヲ爲シタルヤニ付質疑シ廣澤委員長ハ委員會ハ先ツ自署ニ關スル法律問題ヲ解決シ然ル後事實問題ヲ審査シタル旨ヲ答辯シ委員ノ一人

タル有松英義君ハ河村君ノ質疑ニ對スル委員長ノ答辯ヲ補足スル旨ヲ述ヘ說明シテ曰ク河村君ノ意見ハ法令ニ於テ自己ノ姓名ヲ記載スヘシトアル場合ニモ當然自署ヲ要スルモノニシテ代署ヲ許スハ特別ノ場合ナリトスル解釋ヲ前提トシ本件ノ場合ニ於テモ原則トシテ自署ヲ要シ例外トシテ代署ヲ許スヘキモノナリトノ意見ニ歸著スルカ如シ而シテ本員ハ本件ノ場合ニ於テハ互選規則ニ明文ナキカ故ニ自署ヲ要セサルモノト考フ凡ソ選擧ニ關スル法令ニ於テ自署ヲ必要トスルヤ否ヤノ問題ハ直ニ投票ノ有效、無效ニ關係ス而シテ投票ヲ無效ト爲ス場合ニハ必ス法ノ明文ヲ要スヘキモノナリ法ニ明文ヲ設ケスシテ遂ニ其ノ投票ヲ無效ナラシムルカ如キハ立法者ノ精神ニ非スト確信スル旨ヲ述ヘ衆議院議員選擧法、府縣制、郡制、市制、町村制等ヲ引例シテ之ヲ說明シ又本件ノ場合ハ記名投票ニシテ意思表示ノ祕密ナルモノハ之ヲ要求セサル所以ヲ說明シ其ノ他河村君ノ意見ニ對シ辯明ヲ爲シタリ又阪本釰之助君ハ判決ト其ノ理由トノ關係ニ付議長ニ質シタルニ議長公爵德川家達君ハ議院ノ判決ハ理由ヲ付セサル旨ヲ答ヘ玆ニ本件ニ關スル質疑應答ヲ終リ次テ議長ハ左ノ判決文ニ付無名投票ヲ以テ表決ヲ行ヒシニ否トスル者百七十一ノ多數ヲ以テ之ヲ可決セリ

判決

貴族院ハ被告新潟縣選出多額納稅者議員佐藤友右衛門ノ當選ハ無效ニ非スト判決ス

議長ハ卽日書記官長ヲシテ判決文ノ謄本ヲ作ラシメ之ヲ原告及被告ニ送達セリ

大正十四年十一月二十八日印刷
大正十四年十二月一日發行

印刷者　貴族院事務局
發行所　内閣印刷局

14.
50

14.3
507